

八郷町の将来はこんな姿に

自然が破壊されないよう願っています

緑濃い豊かな町、八郷町。近隣の市町村がどんどん変化する中で、八郷町はあまり変化しないように思います。

東京から2時間余りの近距離なのに、自然が豊かに残っている素晴らしいこの町が、開発されてほしくないし、破壊されないよう願っています。あと私が町に望むことは、キチンとした下水道の整備と、租税を安くしてほしいことです。

小仁所 静江 (柿岡・団体職員・39歳)



生協等とのつながりの中で農業の振興を

これからの農業は「園芸や観光農業を主体に」というアンケートの結果が出ていますが、これからは生協などとのつながりの中で、生産そして貸農園などを通して農業の振興を図り、専業農家を育成することが必要だと思う。

こうしたことを実現するためにも「教育と農業は国の大本の原則」を忘れないで、力を注いでもらいたい。

萩原 久 (片岡・農業・51歳)

園部地区は地理を生かし町の東玄関に

環境破壊がすすんで、気がついたときは元に戻らない、という状態にはしたくありません。自然環境を大切にしながら、真に公害のない企業を誘致して、子孫に立派な町を残したい。

園部地区は、常磐線も通って駅に最も近いのですが、町中心から遠いので、置きざりにされそうな感じがします。平地が多い地理を生かし、町の東玄関となるような施策を希望します。

鈴木 薫 (山崎・主婦・51歳)



町の総合計画策定の基礎とするために実施した、アンケートの調査結果がまとまりました。今月は、この調査結果とともに、町の将来やアンケートに対する皆さんの声を紹介します。



フラワーヒルより筑波山を望む

五月上旬に調査をお願いしました「八郷町の将来」についてのアンケート調査の結果がまとまりました。この調査は、「八郷町の将来の姿を描く」第四次八郷町総合計画を、ことし策定するための基礎とするものです。

アンケート調査の対象は、町内の全世帯六、三六八戸の世帯主の皆さんで、回収率は五八・〇％（三、六九一世帯）でした。

回答者の内訳を年齢別で見ると、二〇～三九歳＝八六二人（二三・四％）四〇～四九歳＝二、三九四人（六四・九％）五〇歳以上＝三三五人（一一・八％）です。

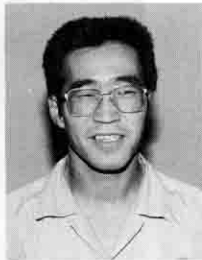
職業別では、農林業＝一、二六三人、商工業＝三三八〇人、会社員＝一、二〇〇人、無職＝三二九人、その他＝五一九人という内容でした。（問1より）

課題は働く場所と道路整備

「八郷町の将来について」——アンケート調査まとめ



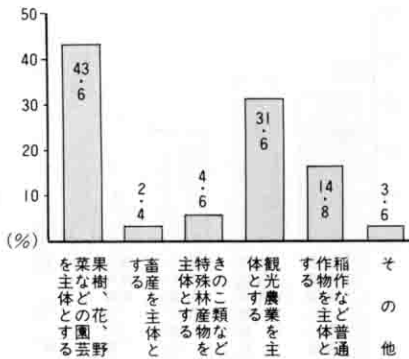
道路整備でイメージアップを



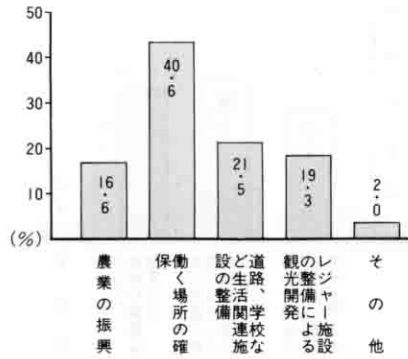
鴻巣 茂 (24)
〈小野越・会社員〉

八郷は自然に恵まれた環境のすばらしい町です。このイメージをこわさない地場産業の開発をお願いします。また、町に住む人の交通手段が車なので、幹線道路・生活道路をもっと広く整備してもらいたい。農業面では、観光や園芸を中心に力を入れ、ほかの町に誇れるよう振興を図ってほしい。

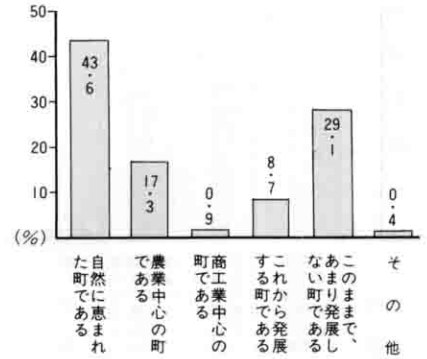
問4. これからの農業はどうあるべきだと思いますか



問3. あなたは八郷町に何を望みますか



問2. あなたは八郷町について次のどのイメージが浮かびますか



町のイメージは「自然に恵まれた町」がトップ

八郷町のイメージとしては、「自然に恵まれた町」というのが四三・六%と圧倒的に多く、次いで「このままであまり発展しない町」と、割合に悲観的な回答が二九・一%もありました。

これは、他町村等に通じる幹線道路網の整備が不十分であるとして、皆さんが消極的に思っている

ためと思われます。

町の基幹産業である「農業中心の町」というのは、一七・三%で第三位でした。

なお、「商工業中心の町」というのが〇・九%と低く、問3の回答で「働く場所の確保」が第一位ということからも、今後の町の対応が課題といえます。

町に望むこと、トップは「町内に働く場所」

町に何を望むかという質問については、農業以外の就労者のうち四八・八%の人が隣接町村に働きに出ている（60年国勢調査）ことを反映し、「働く場所の確保」というのが四〇・六%と圧倒的に多く、次いで「道路、学校など生活関連施設の整備」二一・五%、

「レジャー施設の整備による観光開発」一九・三%となりました。

「農業の振興」は、農業をめぐる暗い要因を反映し、一六・六%で第四位でした。このほか「その他」の項目の中に「公害のない企業の誘致」「朝日峠のトンネル化」を要望する声が見られました。

これからの農業——園芸・観光主体へ

これからの農業はどうあるべきかの質問に対する回答は、「果樹、花、野菜などの園芸を主体とする」というのが四三・六%、次いで「観光農業を主体とする」が三一・六%でした。ほかの項目は、稲作などに對する先行きの不安や畜産の尿処理問題を反映し、いずれも

低い数字にとどまりました。

なお、「その他」の中に、有機質低農業農業や、流通機構対策として生産者と消費者の直接取引を望む声、そして観光農業の観点から家庭菜園の貸付をという意見があり、農業問題の混迷さをうかがわせる結果となっています。

観光開発で大きな町に



友部 和代 (21)
〈太田・団体職員〉

将来の町づくりとして、アンケートの結果を見ても観光にという声があるように、私も観光開発を希望します。町には、フラワーパークや西光院などの文化財もあり、果樹狩りもできるといったように観光資源も豊富です。もう少し施設や道路の整備をし、大きな町となって行くことを期待します。

福祉対策に

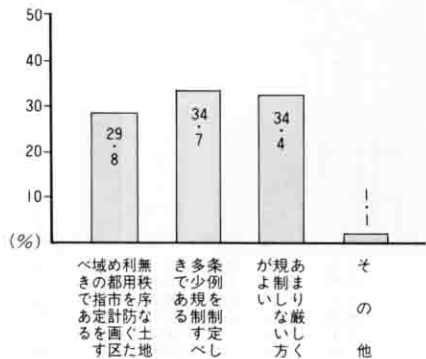
力を入れてほしい



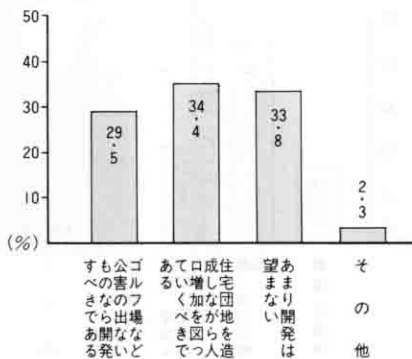
中島 重雄 (76)
〈小倉・無職〉

今は農家でも勤めている人が多いが、ほとんどが町外に働きに出ているので町の中で働ける所がほしいと思う。老人の立場では、早く年寄りの憩いの場となる福祉センターを作ってほしいことと、寝たきりの人たちのために、家族への看護指導など、福祉対策に力を入れてほしい。

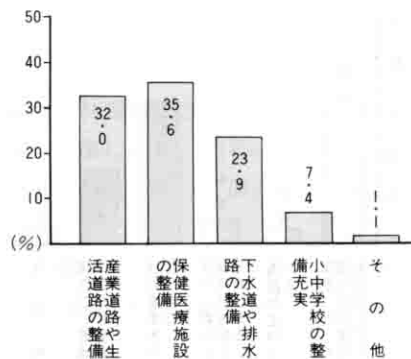
問7. 土地の合理的な利用を図るための都市計画についてどう思いますか



問6. 地域開発についてどう思いますか



問5. 生活関連施設の整備で何を一番望みますか



都市計画についてどう思いますかという質問では、「条例を制定し、多少規制すべきである」が三・四・七％で第一位、次いで「あまり厳しく規制しない方がよい」三・四・四％、「都市計画区域の指定をすべきである」二九・八％となっています。

「都市計画」——規制は賛否両論……

土地利用については、限られた土地をいかに有効利用するかが、町の発展につながるものです。「その他」として、農業振興地域の見直しを要望しているものもありました。また、あまり厳しく規制しない方がよいという意見は、農林業者が一番多く見られました。

地域開発の間に対しては、「住宅用地を造成しながら人口増加を図って行くべきだ」というのが三・四・四％で第一位でした。これに対し、「あまり開発は望まない」という意見も三三・八％あり、第二位となりました。問2で四〇％の人が働く場所を

求めていましたが、ここでは「ゴルフ場など公害の出ないものなら開発すべきである」とする人は、二九・五％にとどまりました。「その他」の中では、工業団地や観光レジャー産業の誘致を求める意見も多く、自然保護と賛否両論となっています。

「宅地開発」と「開発望まない」——ほぼ同数

生活関連施設の整備で何を一番望むかという質問では、第一位が「保健医療施設の整備」で三五・六％、次いで「産業道路や生活道路の整備」が三二・〇％、「下水道や排水路の整備」二三・九％、「小中学校の整備充実」七・四％の順となりました。ここでは、東成井地区に個人病

院ができたことに伴い、保健医療施設への要望は園部地区が最も低く、小中学校の整備では、木造校舎のある園部・小桜地区が特に高い数字として表れております。「その他」では、特に、総合病院の建設（誘致）と朝日峠のトンネル化などが指摘されておりました。

生活関連——多い医療施設や道路への要望

活性化の施策で「ふれあいの町」へ



永瀬勝美(30)
〈宇治会・教諭〉

環境を生かし 先進的な町づくりを

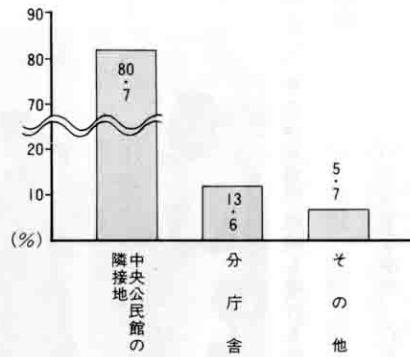
当町は、常磐高速ができて都心とも近くなり、学園都市と大洗港に挟まれた環境にあるので、時代に応じた先進的な町づくりを考えなくてはならない。そのためには、自然を大切にしながら、地域開発を進めるべきで、それによって、働く場所の確保も解消され、これからの農業も位置づけられるだろうと思う。



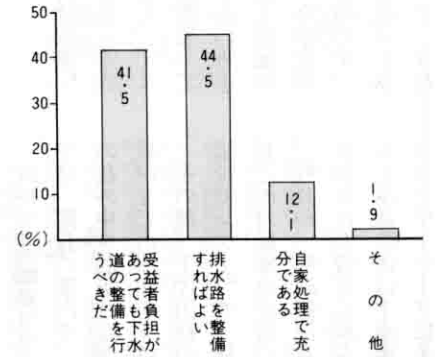
潮田てる子(62)
〈小幡・事務員〉

今後宅地開発に伴い、人口が増えたり、レジャー産業の進出などにより、当町も多少環境は変わると思います。朝日峠のトンネルができれば、経済や文化の交流も高まり、町が活性化して、生活にうるおいができ、筑波連峰を背に、花と緑に囲まれた、豊かな、ふれあいの町ができると思います。

問9. 将来、役場庁舎を新築する場合
どこの場所がよいと思いますか



問8. 公衆衛生と生活環境のため下水道の整備についてどう思いますか



朝日峠のトンネル化はじめ多様な意見よせられる

アンケートの最後にお聞きした皆さんのご意見の中から数多く見られたものを紹介します。

「朝日峠トンネル化の早期実現」「常磐高速六号国道から入る道路の整備」「生活道路の整備」「総合病院の建設」「耳鼻科・眼科・皮膚科の病院設置」「大レジャー

ランドの誘致」「大企業の誘致及び工業団地造成」「地磁気観測所の早期移転」「常磐新線の八郷引き込み」「町興しのイベントを考へて活気ある町づくり」「町民アンケート調査をもっと実施してほしい」「町職員の削減」「町議会議員の削減」「民俗資料館の建設」

「各種団体の補助金を全廃」など。お忙しいところ調査にご協力いただきありがとうございます。町では皆さんの意見をもとに住み良く魅力ある町づくりを進めて行きます。毎日の生活の中でご意見ご要望がありましたら、「町長へのたより」を利用し、いつでも広報課にお寄せください。

下水道整備 要望が多いのは柿岡・小幡

下水道の整備については、「排水路を整備すればよい」とするものが四四・五％で第一位、次いで「受益者負担があっても整備を行うべきだ」とする意見が四一・五％で第二位でした。

負担があっても整備すべきだという意見が第一位を占めた地区は柿岡と小幡地区で、農家では広い

宅地を利用し、敷地内で雑排水の処理を行っている所が多いことをうかがわせる結果となりました。霞ヶ浦浄化と生活環境の改善のために、公共下水道や集落排水の必要性が叫ばれつつありますが、この事業も水道事業同様の負担がかかることでもあり、なかなかむずかしいことが予想されます。

役場庁舎用地、中央公民館の隣が圧倒的

将来の役場庁舎の新築予定地については、圧倒的に「中央公民館の隣接地」という意見が多く、全体の八〇・七％を占めています。

柿岡小学校隣接地の分庁舎という意見は、一三・六％でした。「その他」では、「観測所付近」や「八郷高校付近の高台」という

意見もありました。いずれの意見も、交通の便が良く、駐車場が広くとれる所というのが前提になっています。

役場庁舎の建設については、「八郷町役場庁舎建設特別委員会」で、この結果を踏まえてさらに検討して行く考えです。

結果を踏まえて
希望あふれる町づくりを



町長 中村 謙一

「八郷町の将来」についてのアンケート調査につきましては、お忙しいなかをご協力いただき感謝を申し上げます。

今回のアンケート調査は、第四次八郷町総合計画の策定にあわせ、これからの行政課題に取り組み参考とするために実施したものです。

今回の調査では、町のイメージについて、「このままであまり発展しない町である」と回答した人が、三割近くいたことに大変驚きました。今後はこの結果を踏まえ、二十一世紀に向かって希望にあふれる町づくりに、最大限の努力を傾注してまいりたいと思います。更に、農業問題、地域開発等につきましても、参考にして推進して行きたいと思っております。

生活環境の整備や庁舎建設につきましても、財源の確保を図りながら計画的に実施し、住みよい町づくりに努力してまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

「まちづくり対話教室」

下水道問題など活発な意見出る



中央浄水場で説明を受ける参加者

第一回「まちづくり対話教室」が六月二十二日、公募した三十六名が参加して開かれました。

この教室は、広く行政を知っていただくとともに、皆さんの声を町政に反映させ、「対話と参加の行政」を推進するため、今年度から年三回計画しているものです。

この日は最初に、最新鋭の上水道施設「町中央浄水場」で、きれ

いな安全な水が、各家庭に送られる様子を見学しました。

次いで「茨城県フラワーパーク」では、園長の案内で、色とりどりの花の中を散策しながら、施設の状況などの説明をうけました。

その後、千代田村の「広域老人福祉センター」で、昼食の後、町長との対話集会が持たれました。町長が、町政概況を説明した後、参加された皆さんから、

○上水道の次は下水道の実現を
○フラワーパークに子ども遊園を

○低農業による農業生産を
○「ふれあい道路」の設置を
など、活発な意見が出され、行政運営上貴重な対話となりました。

午後は続いて、広域施設の「塵芥焼却場」を見学、手作業による仕分けを目のあたりにし、家庭での不燃物・可燃物の区分など、ゴミの出し方について、考えを新たにさせられました。

次に小川町にある納豆工場「タカノフーズ㈱」では、近代的な製造工程に目を見はりました。最後に、石岡市にある広域施設のし尿処理場「柏山浄化プラント」を訪ね、運ばれてきたし尿が次々浄化され、きれいな水と肥料になっていく過程を見学しました。

参加者の皆さんに「対話教室」に対するアンケートをお願いしたところ――

☆これらの見学場所は、子どもから老人にいたるまで、一度は見学すべき所、このような機会をもっと作ってほしい。

☆町長との対話が組み込まれていてよかった。

☆勉強になった。

――などの意見が寄せられました。

町では、今後ともこの対話教室を毎年実施していく計画です。

県政への要望相次ぐ

当町で「県民の声を聞くつどい」

六月十四日の午後、町長をはじめ八郷・小桜両農協の組合長、農協専門部会の代表など約五十名の皆さんを集めて、県議会による「県民の声を聞くつどい」が、中央公民館で開かれました。

この「つどい」は、県議会が県民の生の声を聞き、これを県政に生かそうと開かれたものです。

県議会からは、川口三郎議長・手塚克彦副議長をはじめ、農林水産委員会の正副委員長、新治郡内選出議員など十名の方が出席、皆さんから「当町における農業の課題」について、約二時間にわたって意見の聴きとりを行いました。

皆さんからは、朝日峠の早期実現（瀬尾小三郎さん）、農業改良普及所等技術指導員の適正な異動（田中拡さん）、農業用水事業の

受益者負担の軽減（奥村重雄さん）、後継者・中核農家が定着できる施策を（宮部誠さん）といった発言があり、議会としても前向きに検討し、実現に努力したいと約束して、当町でのつどいを閉じました。



農協合併臨時総会は

7月31日です

町では、昨年十月に「農協合併推進協議会」を設立し、八郷農協と小桜農協の合併を進めてきました。

いよいよ七月三十一日には両農協で臨時総会が開催され、組合員の方々の投票によって合併が決定されることとなります。

四月十四日には合併予備契約が結ばれ、合併の礎となる「農協合併経営計画書」が作られました。

当日出席できない方には、総会期日までに、各地区の農事実行組合長さんが「文書による議決」をお

町長さんには

ご提案に
ご意見を
お答えし
ます

⑧

介護教室を！

寝たきり老人のための

このところ、高齢化の問題が新聞やテレビで取り上げられています。また、現在の日本の高齢化の現象は、世界でも例を見ない速さで進んでいるとも言われています。老人の中には寝たきりや痴ほう症老人になっている方もあると思います。家族がいれば寝たきりになった場合、家族の世話になれますが、独り暮らしの老人は余生に不安を抱いているのではないのでしょうか。町では、そんな人たちのために保健婦さんたちが回っていると思いますが、これからは、一般住民へボランティアを呼びかけ、協力を求められたらどう

でしょうか。

また、寝たきり老人のための介護教室などを開き、実習や老人施設を慰問して、一人でも多くの方が介護問題に対処できるような福祉行政の企画の中で実現していただけないものではないでしょうか。

山崎 島田 美登里 (49歳)
〔おこたえ〕

八郷町の老人人口(65歳以上)は、昭和六十三年四月一日現在、四千四百六人で町人口の一四・九%を占め、高齢化が進んでおります。町では、在宅老人福祉対策として、保健婦による個別訪問指導や介護教室の開催、また、家庭奉仕員派遣制度を設け、現在三名の家庭奉仕員が独居老人、寝たきり老人を訪問し、身の回りの世話、指導、相談等を実施しております。寝たきり老人については、希望者を対象に移動入浴事業を実施し、寝台用ギャッチベット、車イスの貸し出しも行っております。独居老人については、七十歳以上を対象にヤクルト会社と契約をし、ヤクルトを配達することにより、老人の安否を確認する「愛の定期便」事業や福祉電話の設置を行っております。

のために、地域の皆さんが、お互いに協力し、助け合っていく組織の育成を推進してまいりたいと思っております。

現在、寝たきり老人の介護者は、身体的にも精神的にも大きな負担を強いられているのが現状です。町では、各種グループ等の会合を利用し、保健婦による介護教室を開催しておりますが、今後さらに対象者を拡大して実施してまいります。また、介護者は、家を留守にできない事情にありますから、保健婦、家庭奉仕員の訪問指導に一層の努力をしてまいりたいと思っております。

今後、町としては関係機関等のより一層の協力を得るとともに、町高齢者福祉対策調整推進連絡会を昭和六十二年三月に発足させましたので、これを中心に高齢者に関する保健、福祉、医療等の各種サービスを総合的に調整し、高齢者のニーズに対応できるよう万全を期してまいりたいと考えております。

町に対するご意見を、町長へのたよりカードでお寄せください。
広報課

願いにかがいます。これからの農業を守るためには、どうしても農協の拡充強化が必要です。要です。農協合併に向け皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

スポーツ ニュース

新治郡体育大会

町出場者の成績は次のとおり。

- ◎陸上(青年男子)▽一〇〇m二位
- ▽野口博之
- ▽一〇〇〇m二位
- ▽荒井弘一
- ▽三段跳び二位関弘行
- ▽三種競技二位岡本恵次(青年女子)▽八〇〇m一位磯山佳子
- ▽走り幅跳び一位関千恵美
- ▽走り高跳び一位桜井純子
- ▽砲丸投げ一位飯村とも子(一般)
- ▽走り幅跳び一位関幸利
- ▽三段跳び一位関幸利
- ◎軟式庭球
- ▽女子二位諸星利枝
- 高橋美江子組
- ◎バドミントン
- ◎バドミントン 総合優勝
- ◎バスケットボール
- ◎バスケットボール 総合優勝
- ◎バレーボール
- ◎バレーボール 青年男子優勝
- ▽一般男子優勝
- ◎卓球
- ◎卓球 総合優勝
- ◎柔道
- ◎柔道 総合優勝
- ▽軽量級一位
- 木崎源平
- ▽同二位成田勝
- ▽同三位中村二也
- ▽中量級一位田村昭二
- ▽同二位大関静喜
- ▽同三位潮田詔一
- ▽重量級一位今井弘和
- ▽同二位鈴木勝男
- ◎弓道
- ◎弓道 団体三位八郷Aチーム
- ▽射撃一位足立喜次
- ▽射撃一位足立喜次
- ▽同三位桜井正男

暑中お見舞申し上げます

暑さ厳しい折柄

皆様のご健康をお祈り致します

昭和六十三年盛夏

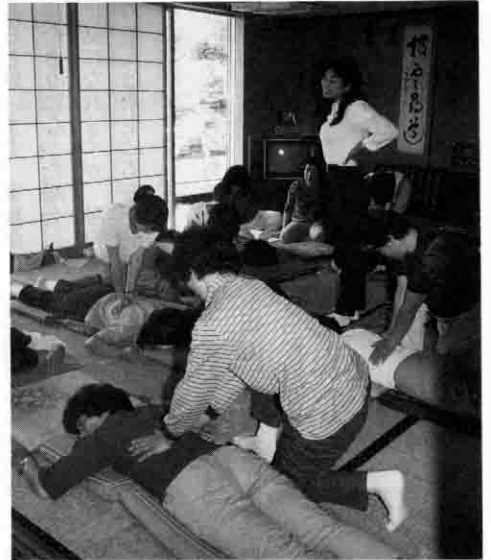
八郷町長 中村謙一





一人の女性として 常に学ぶ姿を忘れずに

町婦人学級を開催



園部婦人学級の指圧講座

最近、労働時間の短縮、平均寿命の延長、とくに女性の場合には家事、育児時間の短縮など時間的ゆとりの増加に伴って、余暇時間や老後の過ごし方が真剣に考えられるようになってきました。

婦人の学習は、二十代には二十代の、三十代には三十代の生活に伴う学習の課題があり、その積み上げが五十歳、六十歳の生き方へとつながっていきます。母として主婦として、また一人の女性としても常に学ぶ姿勢を忘れてはならず、学んでたくわえることも必要になってきます。

そのような婦人教育の重要性の声が高まる中、町においても婦人

学級が活発に行われています。

今年度は、北郷、園部、館、瓦会、柴内、恋瀬、両桁山寺そして小堀の八学級が開かれ、約二百名が参加しています。

地区公民館を主会場にして、毎月一回の学習で、料理、指圧、生け花、編み物そして着付けなど、生活に直接結びついた講座や趣味

を生かしたものが主な内容です。また時には、夏の健康管理や成人病の予防などに関する講演会や町の史跡名勝を訪ね歩く文化財めぐりなども計画され、広範囲な学習が行われています。

年代は五十代を中心に、三十代から六十代まで幅広い世代の方々が集まっており、仲間づくりや地域のコミュニティづくりにも役立っています。

人間は、平凡な生活のくり返しの中にも、張りのある充実感を求めています。一人で学ぶことから何人かで学ぶことへと広がっていきます。近所の仲間と学習グループを作ったり、婦人団体に加わったりして学ぶこともできるし、学習する機会はいくらでもあります。

婦人が各活動に参加し、社会に目を向けながら発言し、行動して自ら持てる能力を発揮していくことは、女性自身ばかりでなく、社会全体の発展のためにも大切なことでしょう。

駅伝競走大会にご参加を

第二回八郷駅伝競走大会が、ことしも十二月二十七日、中央公民館をスタートに北は善光寺、南はフラワーパークの往復コースで開催されます。

教育用語

内申書

つくば市の第五学区編入により、一部の高校では、入学が狭き門になりつつあるという。県立高校合格に、五〇%の影響を持つ「内申書」とは、一体どんなものなのか。

県立高校への「通行手形」と呼ばれる内申書、法規では「調査書」という。

志願者の学業成績・行動の記録などの報告書で、入学者選抜の判定資料として、出身校から志願校へ提出されるもの。

内申書の扱いは、時代の背景とともに変わる特徴があり、昭和二年に中等学校入試の激化から、文部省が初めて内申書重視の方針を示して以来、受験競争が問題化すると、この方針が強められる傾向にある。

「茨城県立高等学校入学志願者調査書」の中味は、(1)各教科の学習の記録、(2)特別活動の記録、(3)行動及び性格の記録、(4)欠席の記録、(5)志望、(6)健康診断の記録、(7)卒業後の経歴、(8)その他の特記事項、と内容は広範にわたっている。

内申書をどの程度重視するかは、都道府県によって対応にちがいがああり、学力検査の成績と同等にみるところが多いが、一部に内申書に重きを置くところもある。

同等視するところでも、全体を同じ扱いにするところと、茨城県や東京都のように、学習の記録を同等視し、他項目は、別な比重でみるなどバラつきがある。

茨城県の場合、九教科の五段階評価を単純合計し、45÷44(オール⑤か一教科のみ④)を一〇……11÷9(オール①か二教科が②など)を一〇というように十段階の内申点がつけられる。

入試点も高校ごとに十等分され内申点を加えて選抜するが、同列のときは他の内申項目が大きな効力を発揮することになる。

したがって、日常の学習・部活動・生徒会活動も重要なものとなるが、内申書をタテに強い締めつけをする教師も増え、受験競争の日常化との批判も高まりつつある。

スズン

私の夢

園部中一年 外村麻美

私の将来の夢は、今、二つあります。一つは、童話作家。もう一つは、通訳の仕事です。

童話作家になりたい理由は、私は物語を書くのが好きだからです。それに、私たち子どもに、すてきな、そしてたくさんのお話をあたえてくれるのは童話だと思うからです。

ヤロルです。

「不思議の国のアリス」では、アリスがウサギの穴に落ちたり、



突然体が大きくなったり、チェシエア猫が消えたりします。現実の世界では起こらない不思議なできごとが、次々と起こるといったお

話です。どちらか作者はルイス・キャロルです。

もしろい発想に、あこがれているのです。通訳になりたい理由は、今、私がとても興味をもっている英語が使えるからです。それと、これは先生から聞いたのですが、今、日本にきている中国の残留孤児の人たちのことを知るのに、十歳ぐらいの女の子が通訳をしているということ。そういう人たちのために働くということ。とてもすばらしいことだと思います。もしかしたら、どちらにもなれないかも知れない。けれど、今からがんばって勉強して、きっと、童話作家か、通訳になりたいと思います。



須藤 碧ちゃん(柿岡)

父 伸夫さん 母 孝子さん

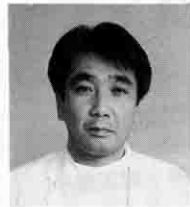
昭和62年6月10日生まれ(長女)

〈家族からの一言〉

好き嫌いなく何でもよくたべます。元気で明るく、優しい子に育ってほしいと思います。

糖尿病の合併症は？

石岡市医師会病院
内科 藤井茂樹医師



糖尿病の合併症には、どんなものがありますか。かかっても、活動的に過ごすことができるのでしょうか。(瓦谷・M子)

ブドウ糖があり余ってしまう病気で、

糖尿病は、膵臓から分泌されるインシュリンというホルモンの働きが不足するため、身体の細胞が活性を失い、血液の中の

症状は、のどの渇き、次いで組織が活力を失うために傷が治りにくい、カゼをひきやすい、などがよく知られています。さらに進行すると、疲れやすい、急にやせてきたという全身の兆候があらわれます。

やがて、日常生活が大きく制限される合併症が生じてきます。〈網膜症〉網膜の小さな動脈に動脈瘤を生じたり、血栓から眼底出血を生じて失明することがあります。また、白内障が進行して、視力低下の原因となります。〈神経障害〉下肢の神経痛、神経炎が生じやすく、しびれたり、ジンジンする疼痛が起こります。〈腎症〉腎臓の細小動脈が硬化をきたし、尿路感染も合併しやすくなります。このため腎機能が悪くなりやすく、ついには腎不全から

尿毒症を併発することもあります。〈感染症〉肺炎や肺結核、皮膚の化膿などを生じやすく、感染を起こすと糖尿病も一層悪化します。〈循環器系障害〉特に脳、心臓の血管に障害がおよぶと、脳血栓、脳出血、狭心症、心筋梗塞などが起こり、糖尿病はこれらの疾患の最も多い原因となっています。

このように、合併症は主に、血管や神経が障害された結果生じてきます。患者さんは、自分の身体の状態を常に自覚し、医師の指示をよく守っていれば、合併症に悩まされることなく、健康的で活動的な生活を送ることができると思います。

●専門医にきく





みんなの広場 皆さんが作るページです。あなたの作品をお寄せください。

図画・イラストコーナー



恋瀬小5年 村田尚美



林小2年 老川めぐみ



有明中2年 村田陽子



園部小6年 本多早苗

私もひとこと

年

に一、二回、集落公民館などで、町長さんと町政について話し合える機会を作ってください。吉生 荒井佐久子(45)

町には一四九の区がありますので、全区というわけにはいきませんが、現在のところは、要請のあった区には都合のつく限り、町長が出席するようにしています。計画的に全区で話し合いが持てるよう検討してみたいと思います。公聴係

毎

回楽しく読ませて頂きありがとうございます。もう少し町民の声を取り入れたらよろしいのではないかと思います。(年代別での八郷町の発展のための考え方等) 柿岡 沢辺登代子(40)

広報課でも、皆さんの声を少しでも多く取り入れた紙面作りを心がけ、そして目指しています。皆さんのいろいろな提言も、毎月テーマを決め、掲載したらと現在検討しています。また、紙面の中にこんな欄があったら楽しみみだ

習字コーナー

評 日本教室書道連盟審査員 内田 景峰

芦穂小四年 大山 美徳

林小四年 大久保 祐子

平和

芦小 四年 大山 美徳

ふんわりと温かそうな字です。でも今のうちに、もつときびしい線を出すことも大切です。

石みなよ

林小 四年 大久保 祐子

ちよつと締りがないが、天真らんまんに書いています。もつと力強く書くと、りっぱです。

広

報やさとの四月号には、いつも表紙の部分にある筑波山の絵がなかったのですが、これから絵の方を続けてくださればうれしく思います。広報係

小幡 仲村政江(29)

広報やさとは、子どもたちからお年寄りまで、幅広くたくさんの方に毎月楽しみに読んでいただけるよう、四月号からガラリとスタイルを変えた次第です。表紙も、これまでは、筑波山のシルエットや町章などを入れてお

毎

回クイズコーナーなどを設けてほしいと思います。真家 桜井和子(28)

広報クイズには、第一回目からたくさんの方にご応募をいただきました。豪華な賞品は差し上げられませんが、ご好評におこたえしてずっと続けてゆきたいと思っています。広報係

広

報やさとも内容が豊富になり、みんなの広場など楽しみがいっぱいです。

月岡 田上由江(44)

林道団子石線に開設記念碑

当町の瓦谷地内と岩間町の上郷地内を結ぶ、延長6kmの林道団子石線。この団子石線のちょうど両町の境界地付近に、このほど、同林道開設の記念碑が建てられ、6月13日、除幕式が行われました。

団子石線は、林業構造改善事業の一環として、昭和49年度に工事に着工、昭和60年度の完成まで12年という長い歳月をかけて開設された峰越連絡林道です。

当日は、八郷町、岩間町から中村、中林両町長をはじめ、各関係者約20名が出席して式が執り行われました。

元気いっぱい自転車おじさん

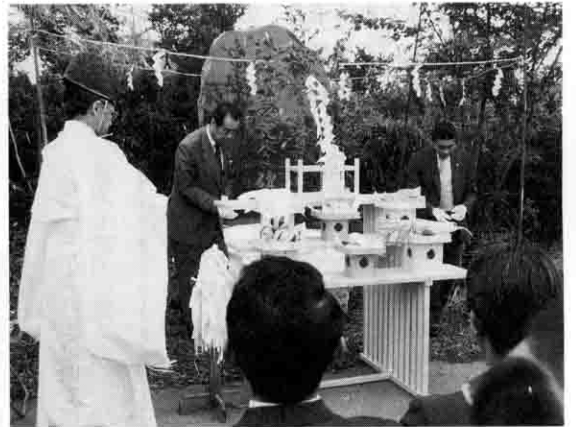


ことし八十四歳になる鯨岡の谷萩貞次さん。この谷萩さん、自転車旅行が趣味。七十歳のときに鹿島神宮に参拝したのははじまりとかで、遠くは松島瑞巖寺参拝から房総一周も。つい最近も成田山新勝寺へ日帰り旅行。ますますお元気です。

永井伸一さんが体育功労者表彰



このほど、上置の永井伸一さん(38歳)が、県体育指導委員協議会から体育功労者表彰を受けました。永井さんは、昭和五十三年から町体育指導委員として柔道の実技指導および組織の育成に尽力され、体育振興のために貢献されています。また、永井さん自身も選手として全国大会に二度出場された実績をお持ちです。



お知らせ

「犯人が起訴されない」
不満の方は検察審査会へ

検察審査会とは、検察官が行った不起訴処分が正しかったかどうかを審査するところです。

詐欺やおどし、あるいは交通事故などの犯罪の被害にあい、警察や検察庁に訴えたけれども、検察官がその事件を不起訴にし、裁判にかけてくれない。——こんな不満をお持ちの方は、検察審査会へご相談ください。各市町村の選挙権を有する人の中から、無差別に選ばれた十一人の検察審査員が、事件を審査します。

費用は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。
土浦検察審査会事務局 土浦市中央一―一三―一二、土浦裁判所内 ☎〇二九八―二一―四三四七

県政教室にご参加を

郷土茨城のすがたを目と足で確かめてみませんか。「動く県政教室」は、バスで県の施設などを巡り、車中では県政についての話し合いを行います。参加費は無料です。(昼食は各自持参)

▽参加資格 十八歳以上の県内居住者
▽申込方法 往復ハガキに住所

氏名、年齢、職業、電話番号、希望コースとその実施日、乗車希望場所を記入の上、県南総合事務所総務課 〒300土浦市真鍋五―一七―二六(☎〇二九八―二一―八五一)へ。
※申し込み多数の場合は抽選

期日	コース名(定員)	見学施設等	発着地
8月31日	つくばサイエンスシティツアー'88 (100名)	つくばインフォメーションセンター、ゆかりの森、つくばエキスポセンター、万博記念公園、建築研究所	石岡駅前 取手駅西口 牛久市役所 土浦合同庁舎 土浦駅東口
10月4日	水戸、常陸那珂コース (150名)	水戸市植物公園、水戸市清掃工場、常陸那珂地区、日立港、国営海浜公園、那珂久慈流域下水道終末処理場	
11月10日	コロニー・近代美術館コース (150名)	県立コロニーあすなろ 県近代美術館	

定年退職に備えて教育訓練を受講された方に

雇用促進事業団では、高齢労働者の方で、定年退職に備えて教育訓練を受講された方に費用の半額を補助しています。

対象となる方は、次のいずれに



親子そろって交通安全

子どもたちを交通事故から守るため、林保育所では6月25日に、お母さんたちも出席して交通安全教室を実施しました。

石岡警察署から招いた婦警さんが、まず、子どもたちの好きなマンガの紙芝居をつかって、横断歩道の渡り方などを指導しました。また、手品や腹話術なども交えた楽しい教室に、子どもたちは大喜びでした。

お母さんたちには、「道端で、子どもをほったらかしにして、立ち話しなどをしているお母さん方はいませんか」など、チョッピリ耳の痛い話もありましたが、親子そろって楽しく学ぶことができました。

町民クローケー100チームが熱戦

春季町民クローケー大会が、6月9日、総合運動公園で約100チームが参加して行われました。試合は、7ブロックに分かれて行われ、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

各ブロックごとの1位および2位は次のとおりです。

- Aブロック▷1位瓦会第五野村▷2位園部第四奥村
- Bブロック▷1位小桜第五島田▷2位瓦会第三野村
- Cブロック▷1位下林一▷2位柿岡第二小松崎
- Dブロック▷1位小桜第五君山▷2位園部第三B
- Eブロック▷1位林戸ノ内島田▷2位瓦会第二長谷川
- Fブロック▷1位林片岡鈴木▷2位瓦会第二高橋
- Gブロック▷1位下林二▷2位園部第四鈴木



INFORMATION

も該当する方です。

○五十歳以上の雇用保険被保険者の方

○労働大臣が指定した教育訓練を受講し修了された方

○教育訓練を受講するために自ら入学者、受講料を支払われた方
支給額は十万円を限度として、

入学者、受講料の合計の二分の一。なお、指定教育訓練には、社会保険労務士受験コース、中小企業診断士受験コース、調理師受験コースなど、通学制九〇コース、通信制一三七コースが用意されています。

詳しくは、雇用促進事業団(☎)

今月の納税

7月	固定資産税	第2期
7月	国民年金保険料	7月分
8月	町民民税	第2期
8月	国民健康保険税	第3期
8月分	国民年金保険料	8月分

○三―三二―八一七八) または茨城職業訓練短期大学校、水戸市水府町八六四―四(☎〇二九二―二四―六六〇六)まで。

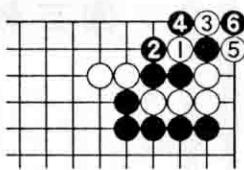
ありがとうございます

○林保育所へ児童用かさ立て三基
下林 岩田シツエ

防ごう非行 助けよう立直り

七月は社会を明るくする運動月間

有段を目指して



解答

詰碁正解 実戦によく出る形ですが、白1のキリから3のハネが手筋で黒6まででコウ。

詰将棋解答 2二銀、2三玉、4三飛成、同角、3三銀成、同玉、2二飛成まで7手詰め。

〈解説〉2二銀、2三玉となった局面は、いま打った銀がなければ2二飛成の詰め。そこで銀を消そうとして1三銀成では、同金と取られたあと、1四玉と脱出されてしまいます。

INTERVIEW

■現代に生きる職人芸 (4)

水車を回し線香を作る

線香製造業 駒村 勇 (65歳)さん

今月は、水車を回し、線香を作る小幡の駒村勇さんを紹介し
ます。

駒村さんのお宅は、代々線香
やさん。線香も杉線香と匂線香
がありますが、駒村さんのとこ
ろで作るのは杉線香です。

毎年、秋から春に杉の葉を調
達し、乾燥させ、細かく裁断し
て、これを水車で粉にします。

線香は、この杉の粉に染料を
入れ、熱湯で練り合わせたもの
を、トコロテンを作る要領の機

械に通して、線香の形を作りま
す。そして一定の長さで切り、
乾燥させて出来あがりです。

線香作りでむずかしいのは、
杉の粉の練り合わせだそうです。
あまり軟らかいと、乾燥させて
もくっついているので、束ねる

のにも仕事やりずらく、また、
あまりかたいと火の付きが悪い
といえます。

乾燥もむずかしい作業の一つ。
特に、冬はちよつとした風で大
変乾燥しますから、乾燥のしず

ぎで曲がってしまい、戻らな
くなってしまふそうです。

駒村さんのところでは、線香
作りに水車を使っているとい
うことで、高級品も作っているの
かどうか、尋ねました。

「線香は需要が伸びるという
商品でもないで、大手の生産
者は少しでも販売を伸ばすため
に、煙の出ないものとか、燃え
ると文字の浮き出るものなどい
ろいろなものを考えたり、宣伝
力をふるって売ろうとして
います。大手にはかなわないの
で高級品はやらす、昔ながらの
ものです。」といえます。

駒村さんの線香は、八〇%を
県内大手スーパーのKに、残り
を問屋さんに卸しており、「清心
香」「清明香」「観自香」という名
で売られています。

「線香は、これでなければだ
めだというものでもなく、燃え
ればよいという人がほとんどな
ので、大手の進出もあり、これ
からはなかなかむずかしい」と
不安もあります。

この業界もなかなかむずかし
いようですが、奥さんのミツさ
ん、後継者の道広さんと忙しい
毎日を送っている駒村さん一家
でした。

写真は、線香を一定の長さに
切る駒村さん。



園芸教室

ハイビスカスの栽培

茨城県フラワーパーク

高橋 晋



ハイビスカスは、ハワイや南国
を連想させる熱帯花木で、大輪の
見事な花を付けます。花は一日花
ですが、大株にして徐々に小枝を
出すと、毎日花が楽しめます。

生育に最適な時期は、五月上旬
から九月いっぱい、温度でいえ
ば十八〜二十八度がよく、十分な
日照を必要とします。生育期はた
くさんの水を欲しがりますので、
鉢土の表面が乾いたらたっぷりと
与えます。特に、七〜八月の晴れ
た日は朝夕二回与えます。

肥料は、五〜九月の間月一回、
油かすと骨粉を混ぜた固形肥料か
化成肥料を置肥します。

五〜九月の高温期は、必ずとい
うと一年に一度、四月上旬に赤土3
腐葉土1を混ぜて植え替えます。

十一月頃になり生育が止まった
ら、室内の日当たりの良い場所に
移し、一週間に一回、暖かい日の
午前中に鉢を軽く湿らせる程度に
水を与え、時々葉や幹に霧水をか
けて春まで管理します。極寒期に
は、ビニール袋などをかぶせ、最
低温度を三度以上に保ちます。

二年に一度、四月上旬に赤土3
腐葉土1を混ぜて植え替えます。

ときめき



郡司尚子 (23)さん

趣味は読書と音楽鑑賞。理想の

男性は、思いやりがあつて背の高
い人。柿岡在住の清そなお嬢さん。

